

令和5年度

稲敷市水道事業会計決算の概要



水 道 事 業 会 計

工 業 用 水 道 事 業 会 計

令和5年度 水道事業会計決算の概要

◎ 総括事項

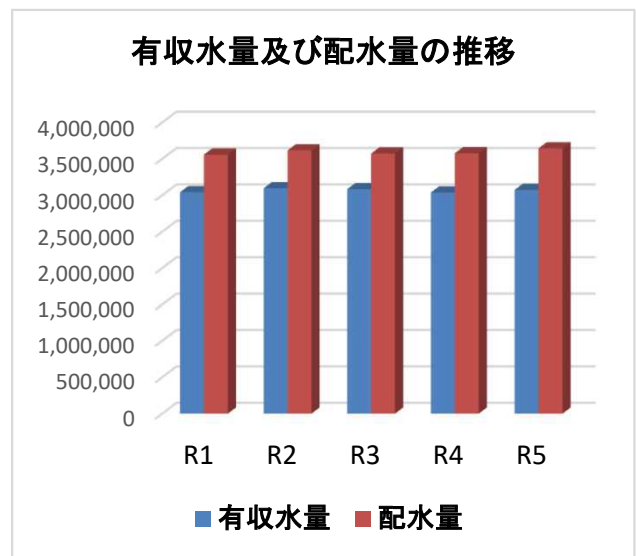
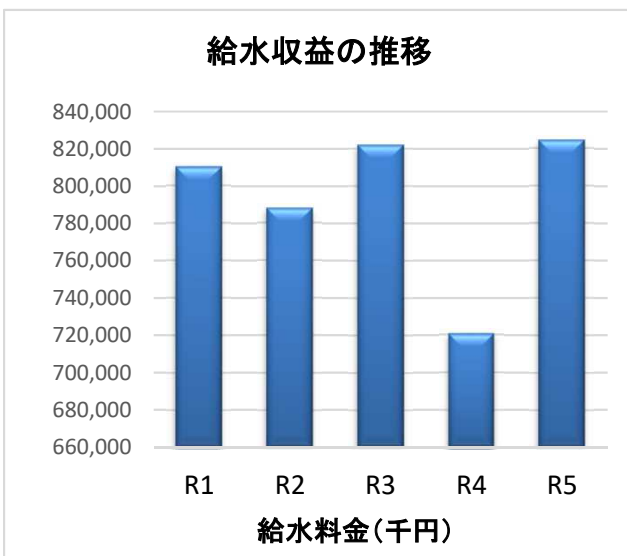
令和5年度末の給水人口は26,908人で、給水件数は11,476件、普及率では73.9%となり、前年度に比べ件数で39件の増、普及率で0.27%の減となりました。

年間配水量3,605,233^m、有収水量3,074,155^mで、有収率は85.3%となりました。

事業収益は931,238千円で、うち営業収益の給水収益は824,533千円となり、前年度に比べ14.40%の増となりました。事業費用は895,077千円で、損益では36,160千円の純利益となっております。

当年度は前年度に比べ給水収益が大幅に増加しておりますが、これは前年度に物価高騰対策として基本料金の減免を行ったことによるものです。一般会計補助金等の減少により事業収益としては2.18%の減、事業費用で3.82%の減となりました。

資本的支出は245,559千円で、うち建設改良費は、219,089千円となり、西部増圧ポンプ場機能強化・更新工事等13件を実施しました。



◎ 業務の実績

項目	単位	令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)
給水区域内人口	人	36,403	37,050	△ 647	△ 1.75
給水人口	人	26,908	27,448	△ 540	△ 1.97
普及率	%	73.9	74.1	△ 0.2	△ 0.27
計画給水人口	人	43,050	43,050	-	-
給水件数	件	11,476	11,437	39	0.34
給水件数(一般家庭用)	件	10,661	10,624	37	0.35
新規加入件数(全体)	件	95	114	△ 19	△ 16.67
新規加入件数(一般家庭用)	件	50	69	△ 19	△ 27.54
導・送・配水管延長	m	591,815	587,796	4,019	0.68
配水能力	日/m ³	13,910	13,910	-	-
年間配水量	m ³	3,605,233	3,577,149	28,084	0.79
県水受水量	m ³	3,158,441	3,204,144	△ 45,703	△ 1.43
自己水源	m ³	604,162	509,745	94,417	18.52
年間有収水量	m ³	3,074,155	3,038,601	35,554	1.17
有収率	%	85.3	84.9	0.4	0.47
一日平均配水量	m ³	9,850	9,800	50	0.51
一日最大配水量	m ³	11,019	11,452	△ 433	△ 3.78

◎ 比較損益計算書(税抜)

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)
事業収益	931,238,657	951,956,221	△ 20,717,564	△ 2.18
営業収益	857,002,509	750,349,530	106,652,979	14.21
営業外収益	72,523,521	201,606,691	△ 129,083,170	△ 64.03
特別利益	1,712,627	-	1,712,627	皆増
事業費用	895,077,780	930,670,394	△ 35,592,614	△ 3.82
営業費用	886,128,539	916,339,621	△ 30,211,082	△ 3.30
営業外費用	8,949,241	11,760,953	△ 2,811,712	△ 23.91
特別損失	-	2,569,820	△ 2,569,820	皆減
営業利益	△ 29,126,030	△ 165,990,091	136,864,061	82.45
経常利益	34,448,250	23,855,647	10,592,603	44.40
当年度純利益	36,160,877	21,285,827	14,875,050	69.88
前年度繰越利益剰余金	-	-	-	-
その他未処分利益 剰余金変動額	-	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	36,160,877	21,285,827	14,875,050	69.88

◎ 比較貸借対照表(税抜)

(単位:円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)
固定資産	5,169,341,668	5,142,151,955	27,189,713	0.53
流動資産	1,665,809,334	1,760,851,955	△ 95,042,621	△ 5.40
資産合計	6,835,151,002	6,903,003,910	△ 67,852,908	△ 0.98
固定負債	365,612,837	392,617,914	△ 27,005,077	△ 6.88
流動負債	198,339,786	310,601,872	△ 112,262,086	△ 36.14
繰延収益	1,274,862,298	1,239,608,920	35,253,378	2.84
資本金	3,493,694,273	3,493,694,273	-	-
剰余金	1,502,641,808	1,466,480,931	36,160,877	2.47
負債・資本合計	6,835,151,002	6,903,003,910	△ 67,852,908	△ 0.98

◎ 企業債

令和5年度企業債償還額は26,470,629円で、年度末未償還残高は346,160,478円となります。

未償還残高は、これまで企業債借入れを抑制してきたことから毎年減少し、令和4年度末償還残高と比較しますと7.1%の減となります。

企業債増減額

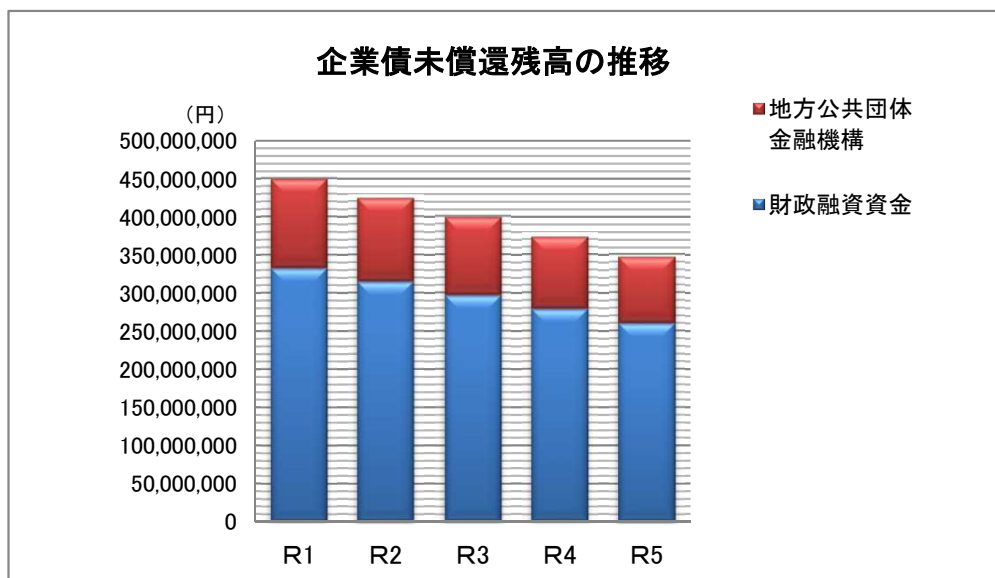
(単位:円)

項 目	発行総額	令和4年度末 残高	令和5年度		償還高累計額	令和5年度末 未償還残高
			借入額	償還額		
財政融資資金	459,600,000	278,320,296	-	18,717,659	199,997,363	259,602,637
地方公共団体 金融機構	176,200,000	94,310,811	-	7,752,970	89,642,159	86,557,841
合 計	635,800,000	372,631,107	-	26,470,629	289,639,522	346,160,478

未償還残高の推移

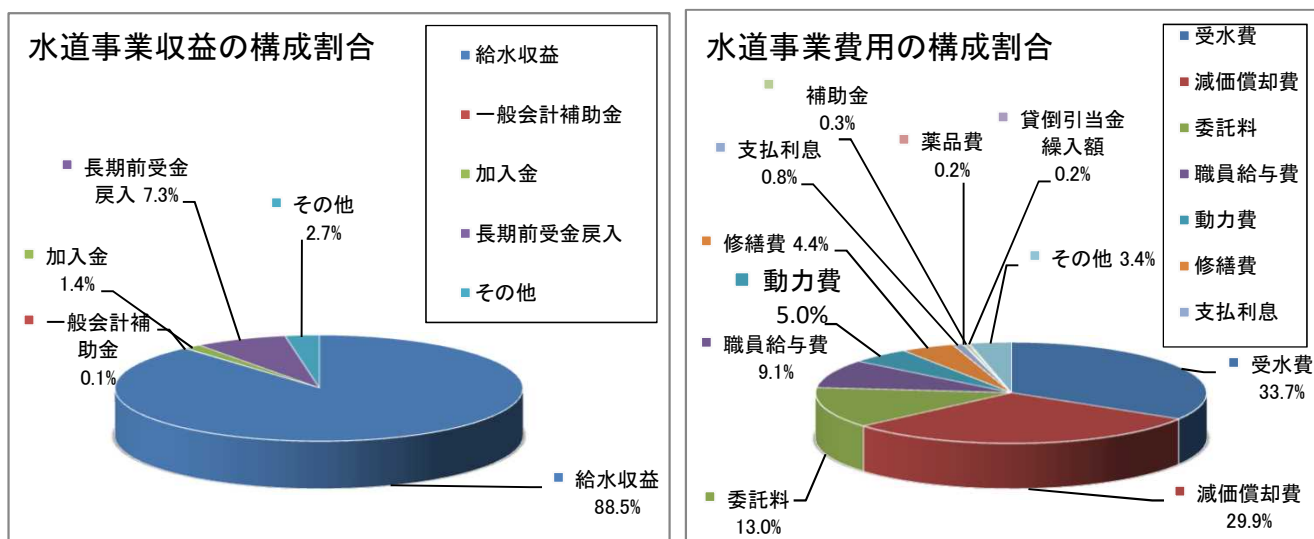
(単位:円,%)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
財政融資資金	332,302,939	314,663,252	296,671,410	278,320,296	259,602,637	△ 18,717,659	△ 6.7
地方公共団体 金融機構	116,639,009	109,348,236	101,906,546	94,310,811	86,557,841	△ 7,752,970	△ 8.2
合 計	448,941,948	424,011,488	398,577,956	372,631,107	346,160,478	△ 26,470,629	△ 7.1



【令和5年度収益的収支】

水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、水道事業を運営するための経費とその財源



◎ 水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	824,533,640	88.5	720,726,860	75.7	103,806,780	14.40
一 般 会 計 補 助 金	840,000	0.1	115,875,904	12.2	△ 115,035,904	△ 99.28
加 入 金	12,965,000	1.4	10,720,000	1.1	2,245,000	20.94
長 期 前 受 金 戻 入	67,546,622	7.3	81,299,035	8.5	△ 13,752,413	△ 16.92
そ の 他	25,353,395	2.7	23,334,422	2.5	2,018,973	8.65
収 益 合 計	931,238,657	100.0	951,956,221	100.0	△ 20,717,564	△ 2.18

◎ 水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
受 水 費	301,375,275	33.7	303,216,700	32.6	△ 1,841,425	△ 0.61
減 価 償 却 費	267,489,531	29.9	289,957,310	31.2	△ 22,467,779	△ 7.75
委 託 料	116,499,320	13.0	122,708,147	13.2	△ 6,208,827	△ 5.06
職 員 給 与 費	81,315,482	9.1	80,753,294	8.7	562,188	0.70
動 力 費	45,117,571	5.0	44,134,314	4.8	983,257	2.23
修 繕 費	39,648,581	4.4	34,625,554	3.7	5,023,027	14.51
支 払 利 息	7,323,699	0.8	7,847,479	0.8	△ 523,780	△ 6.67
薬 品 費	1,333,970	0.2	1,203,100	0.1	130,870	10.88
補 助 金	2,750,000	0.3	860,000	0.1	1,890,000	219.77
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,406,237	0.2	1,535,000	0.2	△ 128,763	△ 8.39
そ の 他	30,818,114	3.4	43,829,496	4.7	△ 13,011,382	△ 29.69
費 用 合 計	895,077,780	100.0	930,670,394	100.0	△ 35,592,614	△ 3.82

※令和4年度不納欠損処分738,120円

※令和5年度不納欠損処分1,515,732円

【給水原価と供給単価】

◎ 給水原価

(経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入))÷年間総有収水量

効率性の視点から見た指標の判断→「低い」ほうがよい

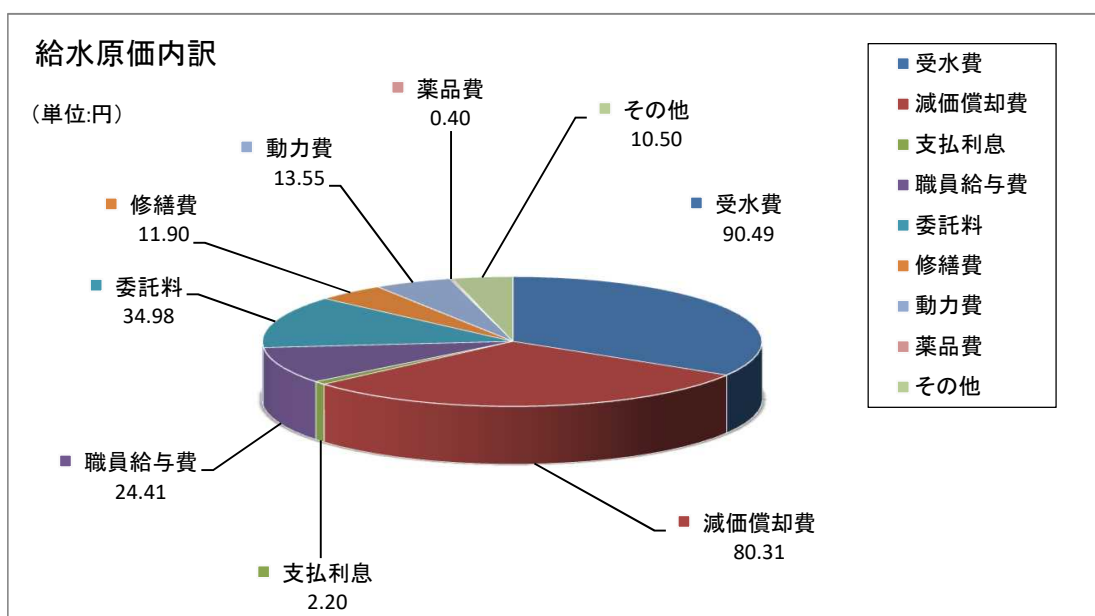
収益につながる水量1m³当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもので、1m³の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標です。水道の生産原価を示しています。

・給水原価とその内訳

給水原価の使途はグラフのとおりです。給水原価268.74円のうち受水費と減価償却費が63.55% (170.80円)を占めています。

(単位:円/m³)

区 分	5年度	4年度	3年度	2年度
給水原価(A)	268.74	278.22	258.22	257.66



◎ 供給単価

給水収益÷年間総有収水量

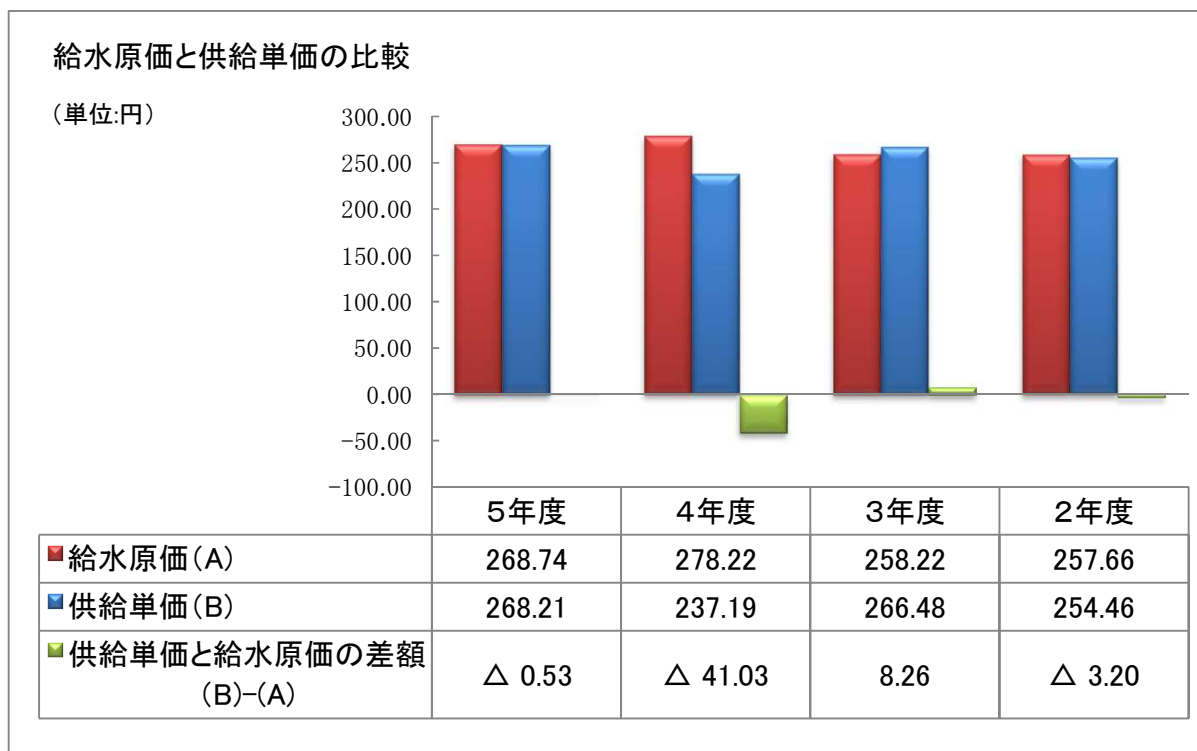
効率性の視点から見た指標の判断→「高い」ほうがよい

有収水量1m³当たりについてどれだけ収益を得ているかを表すもので、1m³の水を供給したときの平均収入額を見る指標です。

区 分	5年度	4年度	3年度	2年度
供給単価(B)	268.21	237.19	266.48	254.46

◎ 給水原価と供給単価の比較

1m³当たりの水を供給するのにかかる費用と1m³当たりの水道料金の平均収入を比較することにより、原価回収されているかをみることができます。供給単価と給水原価の差が、プラスになると利益が出ていることになります。「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は、給水にかかる費用を補うのに水道料金以外の収入が必要な状況にあるといえます。



【経営分析】

◎ 財務分析表

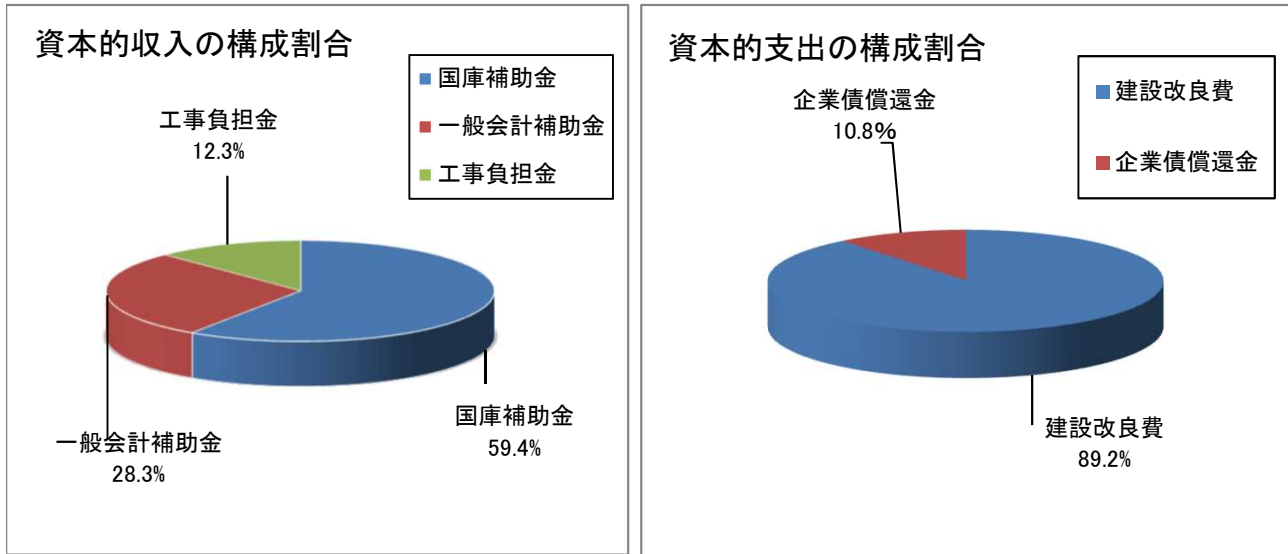
分析項目	令和5年度	令和4年度	県平均 (4年度参照)	解説
1. 自己資本構成比率(%)	91.7	89.8	66.0	総資本に対する自己資本金の占める割合。経営の安定性を判断する指標。
2. 固定資産対長期資本比率(%)	77.9	78.0	89.6	固定資産の調達が長期資本の範囲でまかなわれているかを示し、低いほど安定性が高く100%以下が望ましい。
3. 流動比率(%)	839.9	566.9	342.8	企業の支払い能力を示す。
4. 総収支比率(%)	104.0	102.3	109.3	総費用に対する総収益の割合。総収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
5. 経常収支比率(%)	103.8	102.6	111.0	経常費用に対する経常収益の割合。経常収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
6. 営業収支比率(%)	96.7	81.9	100.3	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。
7. 企業債償還額対減価償却比率(%)	9.9	8.9	79.4	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却を比較したものである。
8. 給水収益に対する比率(%)				
(1) 企業債償還元金	3.2	3.6	22.3	料金収入に対して企業債償還額の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(2) 企業債利息	0.9	1.1	4.0	料金収入に対して企業債利息の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(3) 減価償却費	32.4	40.2	37.3	料金収入に対して減価償却の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(4) 職員給与費	9.9	11.1	7.6	料金収入に対して職員給与費の比率を表したものの。比率は低いほど良好。

◎ 経営分析表

分析項目	令和5年度	令和4年度	県平均 (4年度参照)	解説
1. 施設利用率(%)	70.8	70.4	66.1	配水能力に対する平均の割合を示し、施設の利用度を見るものである。比率は大きいほど良い。
2. 負荷率(%)	89.4	85.6	87.0	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。比率は大きいほど良い。
3. 最大稼働率(%)	79.2	82.3	76.0	配水能力に対する最大配水量の割合を示し、この率が極端に低いと過大投資を示し、逆の場合は施設の拡充が必要である。
4. 配水管使用効率(m ³ /m)	6.1	6.1	0.1	配水管使用効率は、導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、給水区域の人口密度の影響を受ける。数値が高いほどよいとされている。
5. 固定資産使用効率(m ³ /万円)	7.1	7.1	6.4	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。この比率が高いほど施設が効率的であり、低い場合には遊休資産・未稼働資産についての検討を要する。
6. 供給単価(円/m ³)	268.2	237.2	203.6	有収水量1m ³ 当たりどれだけの収益を得ているかを表す。
7. 給水原価(円/m ³)	268.7	278.2	203.2	有収水量1m ³ 当たりどれだけの費用がかかっているかを表す。
8. 職員1人当の給水人口(人)	2,446	2,287	4,205	
9. 職員1人当の有収水量(千m ³ /人)	279	253	434	人的資源が効率的に活用されているか否かを示す指標であり、数値が大きいほど職員1人当たりの生産性が高いことを示している。
10. 職員1人当の営業収益(千円)	77,909	62,529	93,094	

【令和5年度資本的収支】

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源



◎ 資本的収入の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
国 庫 補 助 金	4,152,000	59.4	-	-	4,152,000	皆増
一 般 会 計 補 助 金	1,980,000	28.3	18,402,000	94.2	△ 16,422,000	△ 89.24
工 事 負 担 金	860,000	12.3	1,140,000	5.8	△ 280,000	△ 24.56
資 本 的 収 入 合 計	6,992,000	100.0	19,542,000	100.0	△ 12,550,000	△ 64.22

◎ 資本的支出の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
建 設 改 良 費	219,089,106	89.2	287,160,472	91.7	△ 68,071,366	△ 23.70
企 業 債 償 還 金	26,470,629	10.8	25,946,849	8.3	523,780	2.02
資 本 的 支 出 合 計	245,559,735	100.0	313,107,321	100.0	△ 67,547,586	△ 21.57

◎ 資本的収支の不足額 (税込)

(単位:円)

科 目		令和5年度(A)	令和4年度(B)	増減(A)-(B)
資 本 的 収 支 不 足 額		238,567,735	293,565,321	△ 54,997,586
補填財源内訳	過年度分損益勘定留保資金	218,696,611	269,264,730	△ 50,568,119
	当年度分損益勘定留保資金		-	-
	減 債 積 立 金		-	-
	建 設 改 良 積 立 金		-	-
	そ の 他 (当年度消費税資本的収支調整額)	19,871,124	24,300,591	△ 4,429,467

◎ 工事概況

(1) 建設改良工事の概況

(単位:円)

	工事名	施工内容	契約金額(税込)
令和4年度繰越 建設改良工事	R4稲水 江戸崎(新山) 地区配水管布設工事 (その1)	配水用ポリエチレン管 φ75 L=260.9m 配水用ポリエチレン管 φ50 L=146.5m 地下式消火栓設置 N=1基	19,745,000
	R4稲水 江戸崎(新山)地区配水管布設工 事 (その2)	ダクタイル 鋳鉄管GX形 φ100 L=17.2m 配水用ポリエチレン管 φ100 L=46.2m 配水用ポリエチレン管 φ75 L=320.4m	24,915,000
令和5年度 建設改良工事	R5稲水 月出里地区 配水管布設工事	配水用ポリエチレン管 φ75 L=65.5m 配水用ポリエチレン管 φ50 L=81.0m	9,438,000
	R5稲水 羽賀地区 配水管布設工事	配水用ポリエチレン管 φ75 L=10.0m 配水用ポリエチレン管 φ50 L=272.7m	16,368,000
	R5稲水 佐原組新田地区 配水管布設工事	配水用ポリエチレン管 φ100 L=338.0m 配水用ポリエチレン管 φ75 L=91.7m 配水用ポリエチレン管 φ50 L=2.2m	16,588,000
	R5稲水 浮島地区 戸崎橋橋梁添架管 布設替工事	配水用ポリエチレン管 φ150 L=54.1m アラミドがい装ポリエチレン管 φ150 L=13.6m	27,555,000
	R5桜川配水場 配水ポンプ用インバータ 更新工事	インバータ更新工事 一式	3,410,000
	小角地区仮設配管 布設工事	仮設配管工事 一式	5,258,000

令和5年度 工業用水道事業会計決算概要

◎ 総括事項

令和5年度末の給水事業所数は7件で、1日平均契約水量は310m³となり、いずれも前年度と同じになります。年間配水量は39,881m³で、有収水量は38,565m³となりました。

事業収益は9,003千円で、うち給水収益については7,436千円となり、前年度に比べ2.5%の減少となりました。事業費用は5,097千円で、損益では3,905千円の純利益となっております。

資本的支出は建設改良費は19,492千円で、工業用水廃止に伴う上水施設整備及び企業内井戸設計業務委託等4件を実施しました。

◎ 業務の実績

項目	単位	令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)
給水事業所数	件	7	7	-	-
配水能力	日/m ³	870	870	-	-
導・送・配水管延長	m	1,884	1,884	-	-
年間配水量	m ³	39,881	42,001	△ 2,120	△ 5.1
年間有収水量	m ³	38,565	40,363	△ 1,798	△ 4.5
有収率	%	96.7	96.1	0.6	0.6
年間契約水量	m ³	113,460	113,150	310	0.3
一日平均契約水量	m ³	310	310	-	-
一日平均配水量	m ³	109	115	△ 6	△ 5.2
一日最大配水量	m ³	242	236	6	2.5

◎ 比較損益計算書(税抜)

(単位:円)

科目	令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)
事業収益	9,003,263	9,197,300	△ 194,037	△ 2.1
営業収益	7,436,286	7,630,393	△ 194,107	△ 2.5
営業外収益	1,566,977	1,566,907	70	0.0
事業費用	5,097,626	5,812,511	△ 714,885	△ 12.3
営業費用	5,097,626	5,812,511	△ 714,885	△ 12.3
営業利益	2,338,660	1,817,882	520,778	28.6
経常利益	3,905,637	3,384,789	520,848	15.4
当年度純利益	3,905,637	3,384,789	520,848	15.4
前年度繰越利益剰余金	-	-	-	-
その他未処分利益剰余金変動額	-	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	3,905,637	3,384,789	520,848	15.4

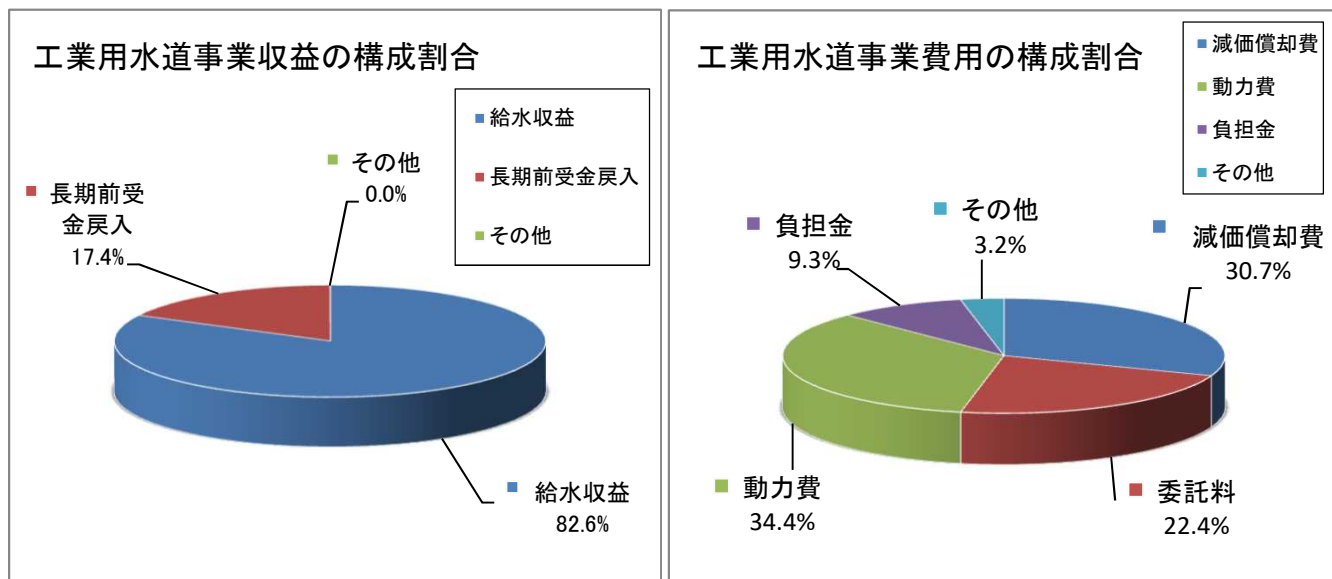
◎ 比較貸借対照表(税抜)

(単位:円)

科目	令和5年度	令和4年度	増減	増減率(%)
固定資産	42,332,774	26,177,262	16,155,512	61.7
流動資産	157,359,815	160,210,011	△ 2,850,196	△ 1.8
資産合計	199,692,589	186,387,273	13,305,316	7.1
固定負債	6,200,000	6,200,000	-	-
流動負債	10,401,971	1,517,804	8,884,167	585.3
繰延収益	25,958,632	25,443,120	515,512	2.0
資本金	96,976,488	96,976,488	-	-
剰余金	60,155,498	56,249,861	3,905,637	6.9
負債・資本合計	199,692,589	186,387,273	13,305,316	7.1

【令和5年度収益的収支】

工業用水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、工業用水道事業を運営するための経費とその財源



◎ 工業用水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	7,436,286	82.6	7,630,393	83.0	△ 194,107	△ 2.5
長期前受金戻入	1,564,488	17.4	1,564,488	17.0	-	-
そ の 他	2,489	0.0	2,419	0.0	70	2.9
収 益 合 計	9,003,263	100.0	9,197,300	100.0	△ 194,037	△ 2.1

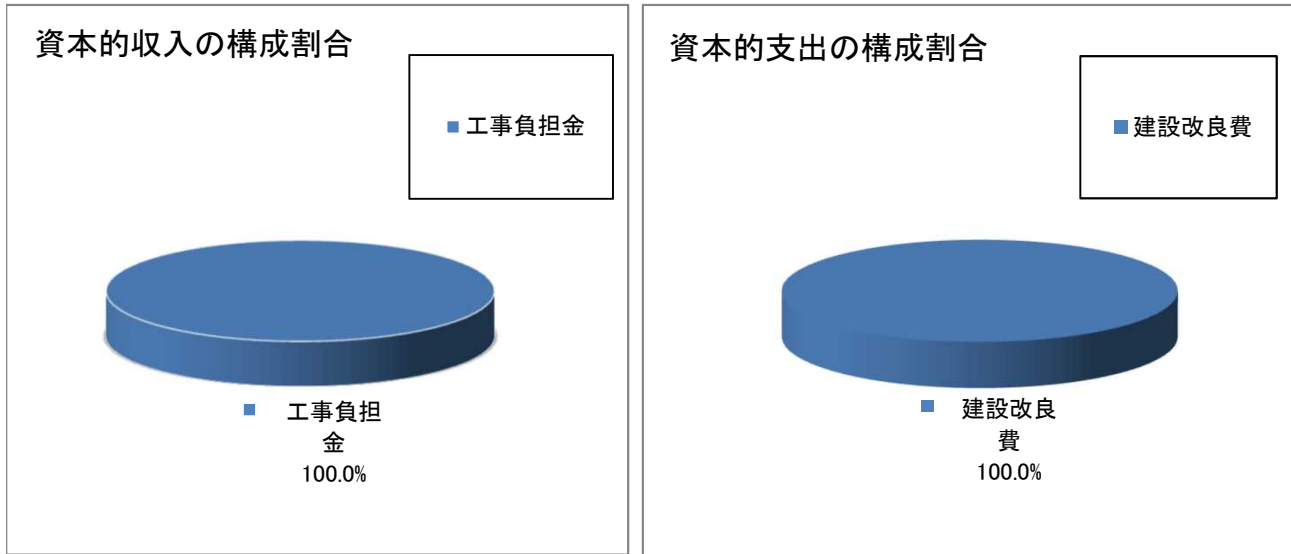
◎ 工業用水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
減 価 償 却 費	1,564,488	30.7	1,794,488	30.9	△ 230,000	△ 12.8
委 託 料	1,143,440	22.4	1,100,000	18.9	43,440	3.9
動 力 費	1,752,466	34.4	2,301,444	39.6	△ 548,978	△ 23.9
負 担 金	476,285	9.3	457,137	7.9	19,148	4.2
そ の 他	160,947	3.2	159,442	2.7	1,505	0.9
費 用 合 計	5,097,626	100.0	5,812,511	100.0	△ 714,885	△ 12.3

【令和5年度資本的収支】

工業用水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源



◎ 資本的収入の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
工 事 負 担 金	2,288,000	100.0	-	-	2,288,000	皆増
資 本 的 収 入 合 計	2,288,000	100.0	-	-	2,288,000	皆増

◎ 資本的支出の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	令和5年度(A)		令和4年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
建 設 改 良 費	19,492,000	100.0	-	-	19,492,000	皆増
資 本 的 支 出 合 計	19,492,000	100.0	-	-	19,492,000	皆増

◎ 資本的収支の不足額 (税込)

(単位:円)

科 目		令和5年度(A)	令和4年度(B)	増減(A)-(B)
資 本 的 収 支 不 足 額		17,204,000	-	17,204,000
補 填 財 源 内 訳	過年度分損益勘定留保資金	15,640,000	-	15,640,000
	当年度分損益勘定留保資金	-	-	-
	減 債 積 立 金	-	-	-
	建 設 改 良 積 立 金	-	-	-
	そ の 他 (当年度消費税資本的収支調整額)	1,564,000	-	1,564,000

◎ 工事概況

(1) 建設改良工事の概況

(単位:円)

	工事名	施工内容	契約金額(税込)
令和5年度 建設改良工事	R5稲工水 筑波東部工業団地 消火栓・空気弁設置工事	地下式消火栓設置 N=2基 空気弁取替工事 N=3基	5,995,000